

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(美 術) 小委員会委員長

佐 藤 智 也



調 査 研 究 ・ 審 議 の 経 過	1 審議の対象となった発行者名及び数 ・開隆堂出版株式会社、光村図書、日本文教出版 の 3 者 2 調査研究の手順 ・第 1 回調査委員会（7 月 9 日）で 3 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（8 月 7 日、8 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2 から様式 6 を作成した。 3 調査研究のための観点、項目 ・取り扱い内容については、絵や彫刻、デザインや工芸、鑑賞について、どのような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっているか、主体的・対話的で深い学びの実現に質する学習へ対応するため、どのような学習活動が取り上げられているかという視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列等については、教科等横断的に学習することができるような工夫がどのようになされているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組むことができる工夫、1 人 1 台端末を活用した学習活動に対する便宜が図られているかという視点で調査し整理した。
全 体 を 通 じ て の 特 徴	1 開隆堂出版については、全学年の巻末で「学びの資料」として、まとめのための資料や表現のための技法などを紹介したり、第 2・3 学年の持続可能な未来への学びの資料で、ウポポイを紹介したりするという特色があり、優れている。 光村図書出版については、美術 1 資料で、発想・構想のためのマッピングを紹介したり、第 2・3 学年の「学習を支える資料」で、様々な地域の日本の伝統工芸の例として「二風谷イタ」を紹介したりするという特色があり、優れている。 日本文教出版については、全学年の巻末で「学習を支える資料」として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、第 2・3 学年の暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で、モエレ沼公園にある野外彫刻を紹介したりするという特色があり、優れている。 2 このほか、3 者とも二次元コードによるデジタルコンテンツが充実し、デジタル教科書（教師用・生徒用）が発行されているという話題も出されていた。



美術の目標について
【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
【学年・分野・領域等の目標など】 [第1学年] (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 [第2学年及び第3学年] (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

目標は、次のような視点を重視して改善を図る。

教科の目標では、美術は何を学ぶ教科なのかということを明示し、感性や想像力を働かせ、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを一層重視する。そのため、育成を目指す資質・能力を明確にし、生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、これらが実現できるよう以下のように目標を示した。

○ 標準授業時数

第1学年—45 単位時間

第2学年—35 単位時間

第3学年—35 単位時間

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術・009-72 美術・009-82	美術1 美術2・3
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列		○ 絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身近な人の姿や自分の大切にしているものを観察して絵を描いたり、材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 墨の濃淡や筆遣いによって、空間の広がりや奥行きのある絵を描いたり、さまざまな出来事や心に残る情景を立体的に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身のまわりにある形や色彩から模様を考えたり、木の特徴を生かした使いやすい工芸品をつくらしたりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 世界観や魅力を伝えるためのイラストレーションのデザインを考えたり、使う人々が心地よく過ごせる空間のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 作品を見て、それを味わい、自分で感じたことから作者の意図や自分なりの解釈について話し合う活動を通して、表現の工夫や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第2,3学年～ 図屏風や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、たくさんの芸術家の作品に影響を与えた美術文化についての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「イメージを伝える形」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ロゴタイプの形や色彩について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2,3学年～ 「イメージを形にして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の思いや材料などをもとに表現方法について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「ずっと木といっしょに」の題材において、木目を生かして、握りやすいナイフを紹介し、家庭科との関連する写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第2,3学年～ 「文化を守り、育む」の題材において、捨てずに資源として再利用する南部裂織を紹介し、社会科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫			
	使用上の配慮等	○ 巻末で、「学びの資料」（全学年）として、表現活動や制作する中で必要となる知識や技法などを紹介したり、表紙に凹凸を施し、指先で触って作品の質感を想像したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			

その 他	※ 中学校用教科書目録（令和 7 年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
---------	--

様式 3

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		38・光村	第1学年 第2・3学年	美術・038-72 美術・038-73 美術・038-82	美術1 美術1資料 美術2・3
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列		○ 絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身近な人のもつ雰囲気や、表情やしぐさから捉えて絵を描いたり、写真の効果を形や色彩・光・構図などから捉えたりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、空想の世界の動物を立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 形や色彩が見る人に与える効果を理解してロゴマークのデザインを考えたり、使いやすさや装飾の美しさを考えて焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 地域の魅力を表すパッケージのデザインを考えたり、人々が利用しやすい公共施設のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 版画の線や面、色の重なりなど表現のよさや特徴について話し合う活動を通して、版画と絵の表現の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第2,3学年～ 浮世絵の大胆な構図と明快な色彩など、日本の美術と西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品についての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの風景を描いた作者の思いや表現の工夫について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2,3学年～ 「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が与える印象や効果について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「暮らしをいろどる文様」の題材において、エッシャーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第2,3学年～ 「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫			
	使用上の配慮等	○ 巻末で、「学習を支える資料」（全学年）として、美術作品の鑑賞方法などを紹介したり、「北と南の民族衣装」（第2,3学年）では、アイヌ民族の伝統的な衣装を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり（全学年）、の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			

その 他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
---------	--

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		116・日文	第1学年 第2・3学年	美術・116-72 美術・116-83 美術・116-84	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列		○ 絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身近にあるものや愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、木の枝や石、廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 視点の違いや構図を工夫して印象の変化を生かして絵を描いたり、動物の特徴やイメージを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 言葉のイメージを身の回りにあるものから考えたり、木の質感や特性、形や色彩に着目し、使う場面を考えて道具をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 布の質感や染色の技法を生かしたデザインを考えたり、過ごす人の思いなどを考えて環境のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 原始美術の造形的なよさや意図について話し合う活動を通して、当時の人々の願いや作者の意図や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第2,3学年～ 現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「材料に命を吹き込む」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの材料などの形や色彩の特徴について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2,3学年～ 「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、中身のイメージをもとに美しさや伝達の効果について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「自然の美しさから生まれた」の題材において、建築や芸術作品に生かされている黄金比を紹介し、数学科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第2,3学年～ 「どこまで修復すべきか」の題材において、美術文化の継承の意義や方法などを紹介し、道徳との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫			
	使 用 上 の 配 慮 等	○ 巻末で、「学びを支える資料」（全学年）として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、「暮らしに息づくパブリックアート」（第2,3学年）では、道内の屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、造形的な視点を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			

そ の 他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
-------------	--

様式 4

＜美術の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- | |
|---|
| ① 題材（「絵や彫刻」「デザインや工芸」「鑑賞」）ごとのページ数及び総ページ数 |
| ② 材料・用具等の安全指導を取り上げている箇所数 |
| ③ 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する作品、図、画像等）を取り上げている箇所数 |

◎調査項目にした理由

- | |
|--|
| ① 学習指導要領に示されている表現及び鑑賞の内容を適切に指導することが求められていることから、題材ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。 |
| ② 学習指導要領において、事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などを徹底することが求められていることから、材料・用具等の安全指導について把握する必要があるため。 |
| ③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。 |

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者	開隆堂		光村			日文			
				1	2・3	1	1資料	2・3	1	2・3上	2・3下	
①	題材ごと のページ 数及び総 ページ数	絵や彫刻	ページ数	18	32	22	0	22	16	12	15	
			全体の占める割合	25%	25%	32%	0%	21%	22%	19%	25%	
		デザイン	ページ数	18	28	14	0	16	16	16	10	
			全体の占める割合	25%	22%	21%	0%	15%	22%	25%	17%	
		鑑賞(※)	ページ数	11	25	18	0	48	14	13	14	
			全体の占める割合	15%	20%	26%	0%	45%	19%	20%	23%	
		その他	ページ数	25	43	14	34	20	28	23	21	
			全体の占める割合	35%	33%	21%	100%	19%	37%	36%	35%	
		総ページ数			72	128	68	34	106	74	64	60
		前回の総ページ数			66	122	80		104	74	64	60
		増減			9%	5%	-15%		2%	0%	0%	0%
②	材料・用具等の安全指導を取り上げている箇所数（※2）			2	4	0	12	1	6	4	2	
③	北海道とかかわりのある内容（北海道に関する作品、図、画像等）を取り上げている箇所数			3	3	4	0	7	3	4	8	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

(※1) 調査項目①の鑑賞の題材は、独立した鑑賞の題材または鑑賞を中心とした題材を対象とし、まとめや学習の補助教材としての扱いとする鑑賞活動、表現と関連を図った鑑賞活動の内容は含まないものとする。

(※2) 調査項目②の安全指導については、囲みやマークで示されている箇所数である。

様式 6

様式 5 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者 館	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
開隆堂	1 構成の美しさ（P. 39）	写真	ルウンペ アイヌ民族文化財団蔵（北海道）
	イメージを伝える形（P. 42）	マーク	札幌市き章
	鑑賞ってなんだろう（P. 61）	解説	舟越桂 札幌芸術の森美術館蔵（北海道）
	2 目にとまる 心にとまる（P. 70）	写真	小樽市の風景写真
	・ 持続可能な未来へ（P. 114）	写真	ウポポイ（北海道）
	3 持続可能な未来へ（P. 114）	写真	国立アイヌ民族博物館（北海道）
光村	1 印象に残るロゴマーク（P. 50）	図	ウポポイ（民族共生象徴空間）のロゴマーク
	暮らしをいろどる文様（P. 53）	写真	アイヌ民族の衣服の文様 旭川市博物館蔵（北海道）
	木と親しむ暮らし（P. 63）	写真	「君の椅子」プロジェクト（旭川家具）
	芸術祭へ行こう（P. 67）	写真	札幌国際芸術祭（北海道）
	2 日本の絵画を楽しむ五つのキーワード（P. 39）	写真	山（富士山）片岡球子（北海道出身）
	3 環境とともに生きる彫刻（P. 46）	写真	ブラック・スライド・マントラ イサム・ノグチ（北海道札幌市）
	印象に残る映像表現（P. 75）	写真	Shadow as Athletes 佐藤匡（北海道出身）
	地域の魅力を表すパッケージ（P. 88）	写真	チョコレートのパッケージ 坂本直行（北海道出身）
	地域の魅力を表すパッケージ（P. 91）	写真	たんちょうクッキー 釧路湿原
	日本の伝統工芸（P. 101）	写真	二風谷イタ（北海道）
	北と南の民族衣装（P. 103）	写真	アットゥシアミブ（北海道）
日本文	1 文字が生み出すイメージ（P. 40）	解説	炭鉄港ロゴマーク 大倉加奈（北海道）
	暮らしの中の木の工芸（P. 49）	解説	ペーパーウェイトふくろう 吉岡俊哉（北海道）
	美術館へ行こう（P. 73）	写真	札幌芸術の森 屋外美術館（北海道）
	2 芸術美術にザワザワザワッ！（P. 11）	写真	LOST #16 札幌市円山動物園（北海道）
	・ 日本文化との出会い（P. 31）	解説	鯉文花器 北海道立近代美術館蔵 エミール・ガレ
	3 暮らしに息づくパブリックアート（P. 52）	写真	テトラマウンド モエレ沼公園（北海道）イサム・ノグチ
	暮らしに息づくパブリックアート（P. 53）	写真	手 旭川市（北海道）木内禮智
	2 あなたのイメージを探そう（P. 20）	解説	風 安田侃（北海道）
	・ 自分を表現する色（P. 39）	写真	アットゥウシ アイヌ民族文化財団蔵（北海道）
	3 魅力を伝えるパッケージ（P. 40）	解説	ショートケーキ缶 橋本学（北海道）
	日本の世界文化遺産（P. 57）	一覧	北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道）
	受け継ぐ伝統と文化（P. 58）	写真	二風谷イタ（北海道）
	世界の工芸品と色彩（P. 59）	解説	札幌の景観色カラーチャート（北海道）
	世界の工芸品と色彩（P. 59）	写真	ライラック（札幌市のシンボルの木）
	世界の工芸品と色彩（P. 59）	写真	芸術の森（札幌芸術の森美術館）

